



「インパクトファイナンスの基本的考え方」について

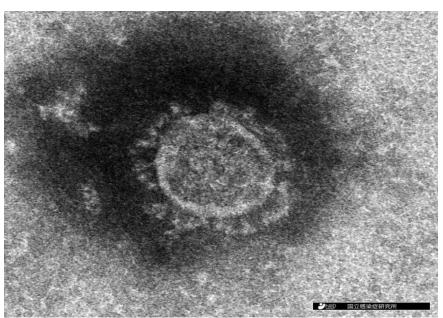
2020年12月

環境省 環境金融推進室

「気候危機」と「コロナ」と2つの危機に直面

- ■国内外で深刻な気象災害が多発、更に気象災害のリスクが高まる
- 6月12日、環境省として「気候危機宣言」を実施。
- ■新型コロナウイルスによる世界中の経済社会、健康等に甚大な影響
- ■感染対策を取ろうにもとれない人々の存在は、「S」の課題を浮き彫りに。



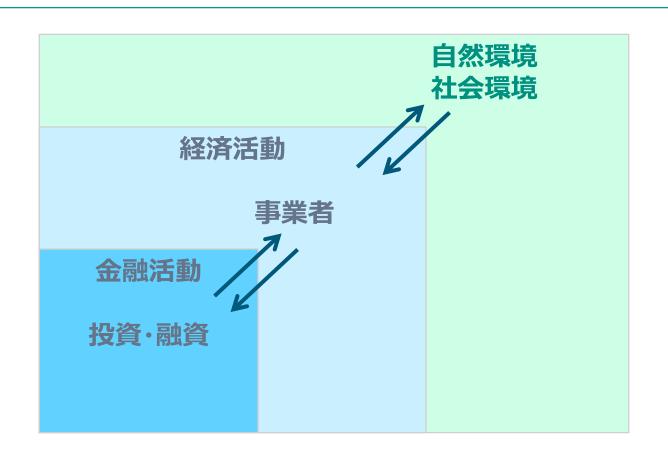


▲令和元年東日本台風による被害の様子 〈長野県長野市千曲川〉

▲2019-nCoVの電子顕微鏡写真(資料:国立感染症研究所)

なぜ、今、インパクトファイナンスなのか

- ■あらゆる金融活動は、「インパクト」を持つ(今もインパクトを与えている)
- ■明確な「意図(Intention)」をもって、ネガティブなインパクトを減らし、 ポジティブなインパクトを増やす必要がある。
- ■そのインパクトは、2030年のSDGs、2050年ネットゼロを実現するのに十分 な大きさでなければならない。



気候変動がビジネスにおいても大きなリスク・機会に

- 自然災害による被害は近年激甚化しており、気候変動が企業の持続可能性を脅 かすリスクとなりつつある。
- 脱炭素化によって、リスクの回避、機会の獲得を目指す動きがビジネスにおい て潮流に。

気候関連リスク

● 多くの日本企業が、 2011年タイ洪水によって 生産拠点の長期の浸水、 サプライチェーン寸断の影 響を受けた



● 損害保険会社の自然災害 の保険金支払額が、西日 本豪雨等の自然災害に よって昨年度は過去最高 額となった

※ 地震災害除く



● 欧州では、新設の石炭火 力発電所の簿価が、規制 強化によって簿価が1年で 半減した



出所:The Talley Group

気候関連機会

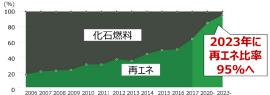
★手八ウスメーカーは、快適な暮らしだけでなく、エネル ギーや防災等の社会課題を解決することから戸建住宅

のZEH標準化を促進している



出所:脱炭素経営促進ネットワーク 第1回勉強会 **看水ハウス発表資料**

● 大手エネルギー企業は、再生可能エネルギーの台頭とコ スト低下、金融機関の化石燃料関係への融資の厳格化 を踏まえ、火力燃料の割合を縮小し、再エネ部門を拡大 している



出所:エルステッド社プレスリリース・ウェブサイト

(https://orsted.com/en/Sustainability/Our-priorities/Transformation-infigures)

資料を基に環境省作成

世界市場におけるサステナビリティ関連ボンド

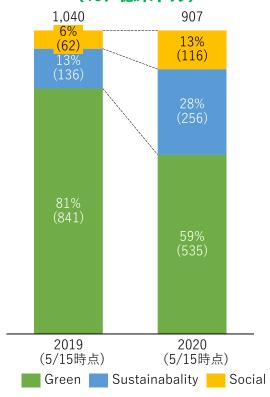
- グリーンボンドを中心にサステナビリティ関連ボンドの市場は拡大しており、グリーンボンドは2,500億ドルを突破
- コロナの影響もあり、2020年はサステナビリティボンド、ソーシャルボンドの発行割合が昨年同時期と比較して、約2倍程度増加している

世界のサステナビリティ関連のボンド発行額の推移(億米ドル)

2.575 1.709 1.608 872 435 418 179142 200 113104 21 59 46 69 2015 2016 2017 2018 2019 Sustainabality Social

出所)Green Bond, Sustainability Bond: Climate Bond Initiative HPのデータをもとに環境省作成 Social Bond: market data, Crédit Agricole CIB, ICMA(2015~2016) Climate Bond Initiative HP(2017~2019)のデータをもとに環境省作成

サステナビリティ関連のボンド発行額の割合 (%、億米ドル)

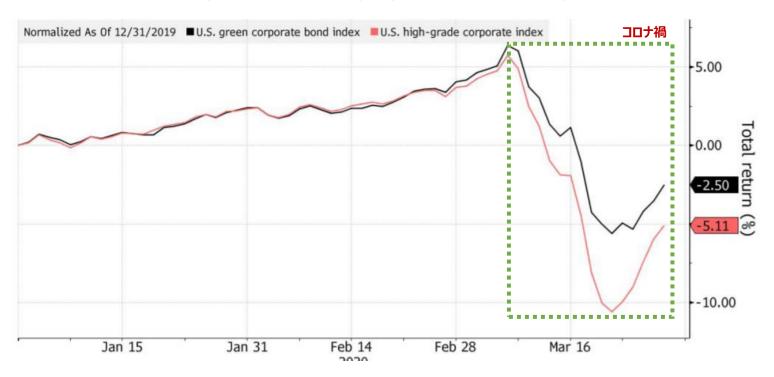


出所)International Capital Market Association analysis based on Environmental Finance databaseをもとに環境省作成

世界市場におけるサステナビリティ関連ボンド

グリーンボンドの発行額は昨年比で減少をしているものの、グリーンボンドに対する 投資家の信頼は継続しており、コロナ禍において通常社債よりも価値を維持している。

米国のグリーンボンドと社債インデックスの推移



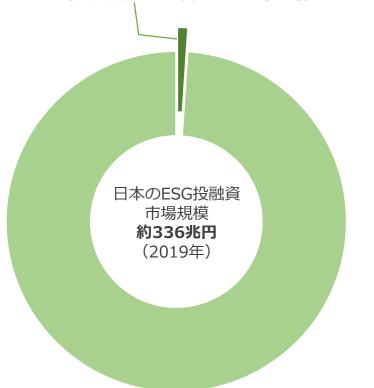
出所: Bloomberg and Barclays, via MSCI

日本におけるインパクトファイナンスの市場規模



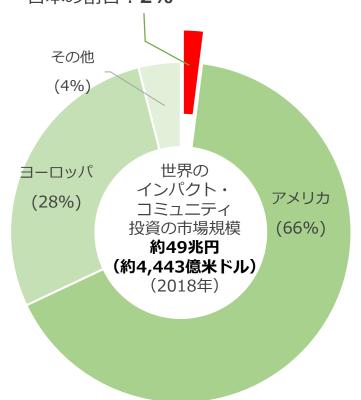
- この2019年時点での日本におけるESG投融資の市場規模は約336兆円に上るが、そのうちインパクト・コミュニティ投資の残高はテーマ型投資も含んだ約3.5兆円の内数にとどまる。
- また、世界のインパクト・コミュニティ投資のうち日本の割合は僅か2%程度と言われる。

インパクト・コミュニティ投資残高と テーマ型投資残高の合計: **3.5兆円(約1.0%)**



日本におけるESG投融資とインパクト・コミュニティ 投資の市場規模*1

※1: 日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)「サステナブル投資残高調査2019」による。 ただし、この残高は「投資」に限定されており、地域金融機関による意欲的な取組や、グリーンローン、 サステナビリティ・リンク・ローンなど、ローンでのインパクトファイナンスを捕捉しているわけではない。 また、グリーンボンド及びサステナビリティボンドの2019年の発行総額は1兆円を超えている。 世界のインパクト・コミュニティ投資のうち、 日本の割合: **2%**



世界におけるインパクト・コミュニティ投資の市場規模と 日本の割合**2

※2: Global Sustainable Investment Alliance 「2018 Global Sustainable investment Review」による。

ポジティブインパクトファイナンスタスクフォースについて

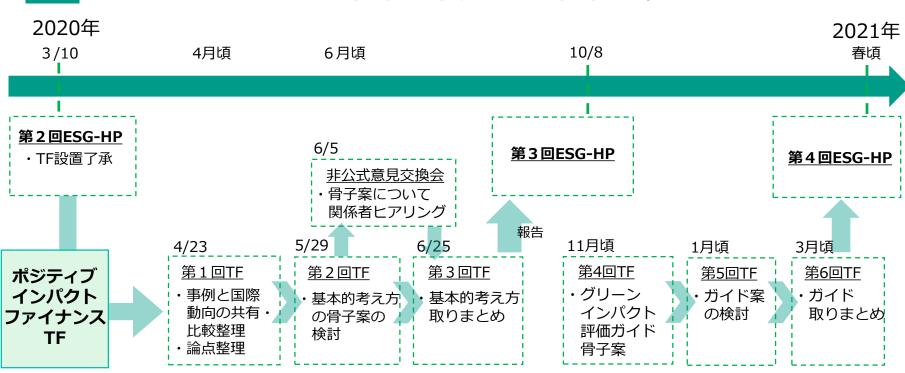
- ■2020年3月10日、ESG金融ハイレベル・パネル(第2回)において、同パネル下に「ポジティブイン パクトファイナンスタスクフォース」を設置することが承認された。
- ■2020年7月、『インパクトファイナンスの基本的考え方』を取りまとめ。今後、グリーンを起点とするインパクト評価のガイドの検討を行う。

ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース 概要

座長: 水口 剛 高崎経済大学副学長 同大学経済学部 教授

検討 事項

- ■ポジティブインパクトを生むことを意図する金融の普及に向けた基本的考え方について
- ■グリーンを起点とするインパクト評価ガイドなどインパクト評価の在り方について等



インパクトファイナンスの基本的な考え方

◆インパクトファイナンスを、ESG金融の発展形として環境・社会・経済へのインパクト を追求するものと位置付け、**大規模な民間資金を巻き込み、インパクトファイナンスを** 主流化していくことに狙い

趣旨・目的

- ◆第一歩として、**まずは、大手機関投資家・金融機関等における実践の促進**を目的
- ◆次の3つの基本的視点 に基づき検討

国際的な考え方 との整合性

任意の取組

我が国での普及 プロセス



ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース委員

安間匡明(社会変革推進財団) 江夏あかね (野村資本市場研究所) 梶原敦子 (日本格付研究所) 金井司(三井住友トラスト・ホールディングス) 木保公美(アクサ・インベストメント・マネージャーズ) 末廣孝信(三井住友フィナンシャルグループ) 竹内直人 (第一生命保険) 徳田展子(日本投資顧問業協会) 八矢舞子(日本政策投資銀行) 林寿和(ニッセイアセットマネジメント) 水口剛(高崎経済大学)

インパクトを考慮する投融資の国際動向



- ■SDGs・パリ協定の達成に向け、金融においてESG投融資から社会的インパクトを志向する「インパクト投融資」への動きが世界的に進行中。
- ■「インパクト投融資」は、取組主体、地域、対象が様々であり、様々なフレームワークやイニシアティブがグローバルで登場。

- ➤ インパクト・マネジメント・プロジェクト (IMP)
- ▶ グローバル・インパクト投資ネットワーク (GIIN)
- 国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI)
 - ポジティブ・インパクト・イニシアティブ
 - バンキング・プログラム
- ➤ 国際金融公社(IFC)
- ▶ ワールド・ベンチマーキング・アライアンス (WBA)
- ➤ インパクト・ウェイテッド・アカウンツ・イ ニシアティブ(IWAI)

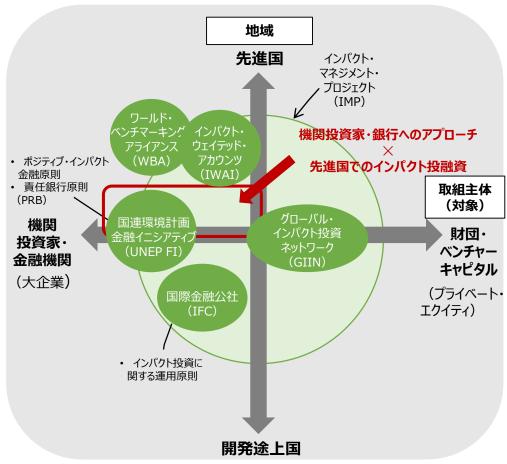


図 インパクト投融資イニシアティブの取組主体、地域、対象の比較

インパクトファイナンスの定義

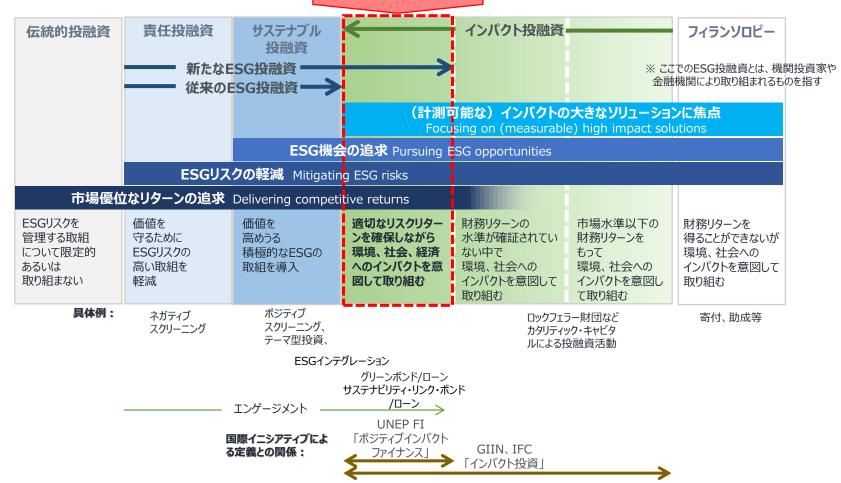
- この基本的考え方における「インパクトファイナンス」とは、次**の4つの要素を全て満たすもの**をいう。
- なお、この定義は、UNEP FIのポジティブインパクト金融原則、GIINのインパクト投資の定義、IMPの 考え方等を基礎としてまとめたものである。

インパクトを 生み出す意図 インパクトの 評価・モニタ リング インパクトの 情報開示	要素①	投融資時に、環境・社会・経済のいずれの側面においても 重大なネガティブインパクトを適切に緩和・管理 すること を前提に、少なくとも1つの側面において、 ポジティブな インパクトを生み出す意図 を持つもの
	要素②	インパクトの 評価・モニタリングを行う もの
	要素③	インパクトの評価結果・モニタリング結果の 情報開示 を行 うもの
適切なリスク・ リターンの確保	要素④	中長期的視点に基づき、個々の金融機関・投資家にとって 適切な リスク・リターンを確保しようとするもの

インパクトファイナンスの位置づけ

- ■「インパクトファイナンス」は、ESG要素を考慮する従来のESG投融資と比較すると、明確にインパクトを意図する点、インパクトの測定を行う点が特色であり、ESG金融の発展形といえる。
- インパクトファイナンスを普及していくことで、大規模なESG金融の資金がインパクトファイナンスに発展していく潜在性に着目。

インパクトファイナンス



インパクトファイナンスの意義

- 投融資や企業の事業活動におけるポジティブなインパクトへの意図やコミットメントの可視化により、
 - ▶投融資先企業や金融機関/投資家自身の価値・競争力の維持・向上につながるとともに、
 - ▶それらが両輪となって拡大することで、アフターコロナの社会づくりの軸となる社会全体のサステナビリティ 向上を支えるものとなる。

アフターコロナの社会づくりの軸となる社会全体のサステナビリティ向上



環境・社会・経済



インパクトへの意図、 コミットメントを可視化







投資家/金融機関

ESG金融の発展形としての インパクトファイナンス

企業

- ➤ インパクト発現への貢献による、社会的支持の獲得 ・競争力向上
- ▶インパクトの意図による、自らのESG投融資の理念の実現
- → インパクトを考慮した中長期的志向による、 適切なリスク・リターンの追求
- ▶ ネガティブインパクト低減・ポジティブインパクト増大による、 資本市場の持続的・安定的成長、経営基盤の維持・強化

- → 環境・社会・経済課題へのインパクトへのコミットメントが 明確化し、ステークホルダーの評価・信頼関係強化
- > サステナビリティ経営の強化・企業価値向上
- ▶ インパクトベースの新たなビジネス資金調達の可能性

個別の投融資におけるインパクトファイナンスの基本的流れ

■ インパクトファイナンスには様々な投融資手法、アセットクラス、インパクト領域があり得るが、 個別の投融資において共通する基本的な流れをまとめた。

1 インパクトの特定

- ポジティブ/ネガティブの両面で、特に重大と考えられるインパクト(以下「コア・インパクト」という。)を特定する。
- ポジティブインパクトについては、特定したインパクトを生み出す意図を持って目標を設定し、ネガティブインパクトについては、発生した場合に重大な影響を及ぼすインパクトを特定する。

2 インパクトの 事前評価

● 特定したコア・インパクトについて、可能な限り、測定可能なKPIと数値目標を設定し、定量的に評価する。

4 インパクトの モニタリング

特定したコア・インパクトについてモニタリングして、定期的にKPIに基づき測定し、定量的目標を設定している場合にはその達成度も評価する。

インパクトの 情報開示

 投融資時には、特定した コア・インパクト、KPIや事 前評価の結果等につい て、投融資後にはモニタリ ングの結果について 情報開示を行う。



- (3) インパクトの事前評価の確認 (必要に応じて実施)
- ポジティブインパクトの有無やネガティブインパクトの緩和・管理状況等により、i) ポジティブインパクト、ii) ポジティブインパクトトランジション、iii) ポジティブインパクトに該当しない、に分類し、現状の把握・確認を行うことで、投融資先がより望ましい方向に移行していく動機付けとして活用することができる。
- 6 投融資終了時におけるインパクトの持続性の考慮 (必要に応じて実施)
 - 投融資を終了する際、その後事業が継続する場合等、 新たなオーナーシップの下でのインパクトの持続性に及ぼす 影響を必要に応じて考慮することが期待される。

民間の取組事例①

三井住友信託銀行は、UNEP FIの「ポジティブ・インパクト金融原則」に基づき、資金使途を特定しないポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施。融資先企業に対してサプライチェーンを俯瞰したポジティブ・ネガティブ両面のインパクト特定、それぞれのインパクトの最大化と最小化に関するKPIを設定してコミットメントするよう、エンゲージメントしている。

③第三者評価を依頼

第三者評価機関

JCR 株式会社 日本格付研究所

〇本件スキームにおいて準拠する原則

国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP FI)

UNEPINITIATIVE

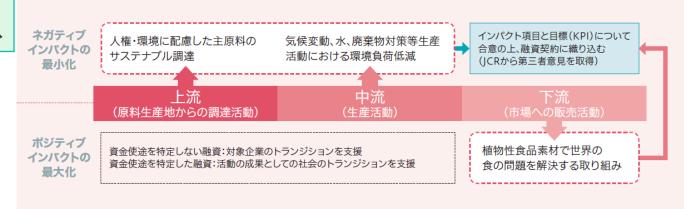
「ポジティブ・インパクト金融原則」

(資金使途を特定しない事業会社向け融資)

FINANCE

不二製油グループ本社への ポジティブインパクトファイナンス

- ◆ 三井住友信託銀行は、2019年3 月、不二製油グループ本社株式会 社との間で、世界初となるポジ ティブ・インパクト・ファイナン ス(資金使途を特定しない事業会 社向け融資タイプ)の融資契約を 締結。
- ◆同社のサプライチェーンの上流、 中流、下流のそれぞれにおいて、 ポジティブとネガティブ両面のイ ンパクトを特定し、それぞれ最大 化と最小化についての目標を設定 し、それらのコミットメントを融 資契約に織り込んでいる。



<スキーム概要> 貸付人 ①取組協議 借入人 SDGs達成にインパクトを与える SDGsの達成に貢献する ②インパクト評価 環境·社会·経済 活動として、定性的、定量的に ■ 不二製油グループ本社株式会社 に配慮した取組 5貸付金 三井住友信託銀行 6元利金 内容 SDGs

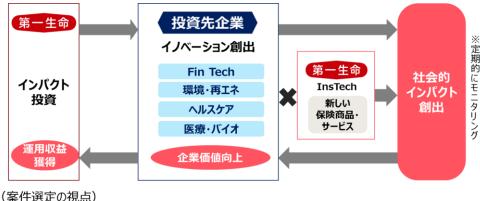
4 第三者評価を取得

(出典) 三井住友トラスト・ホールディングスESGレポート 2019/2020

民間の取組事例②

第一生命は、保険の引受と資産の運用を通じ顧客のQOL(生活の質)向上に貢献するとの 理念に基づき、ESG投資の基本方針に基づきESG投資を実施。そのうち、ESGテーマ型投 **資の一部としてインパクト投資を位置づけ、これまで16件、68億円のインパクト投資を実** 施。

第一生命におけるインパクト投資の狙い



- ① 経営者が社会課題解決に向けた明確なビジョンを有していること
- ② 社会的インパクトの実現可能性

事業の革新性 🗙

市場シェア

(インパクト評価の手法)

投資前に「インパクト評価のKPI」設定を経営者と合意し、定期的なモニタリングを実施

気候変動関連のインパクト投資事例



(出典) 第1回ポジティブインパクトファイナンスタスクフォース 第一生命竹内委員発表資料

インパクトファイナンスの普及に向けたロードマップ

最終目的

全ての機関投資家・金融機関等が全てのアセットクラスにおいて、 インパクトファイナンスを実践

メイン ターゲット

第1段階 (~2021年3月) (2021年4月以降)

大手金融機関・機関投資家

「インパクトファイナンスの 基本的考え方」

✓ 投融資タイプ全般に共通する 「基本的考え方」を整理

アウトプット

「グリーンインパクト評価ガイド」 (仮称)

- ✓ 投融資タイプ全般に共通する 「評価ガイド」を作成
- ✓ <u>環境</u>面のインパクト領域について、KPI等詳細の検討
- ✓ 投融資タイプ又は投資対象 となる業種ごとの評価ガイド等 の作成をニーズに応じ検討
- ✓ 普及に向けたインセンティブ 等の促進策の検討

✓ 環境以外の側面 のインパクト領域に ついての連携

第2段階

(中長期)

地域金融機関や中小・個人

投資家への取組の波及

対外発信

取りまとめの周知・普及

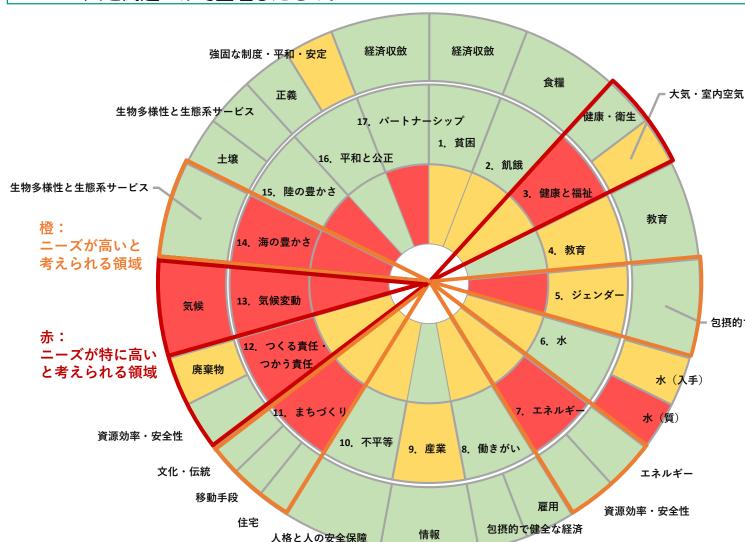
インパクトファイナンスの普及に向けたセミナー・シンポジウム等

タスクフォース外

- ✓ インパクトファイナンスの取組調査・支援の検討
 - ✓ 海外発信、関係者と連携
- 意欲のある地域金融機関・個人投資家への普及・連携

(参考) 日本国内の事業におけるインパクトニーズマップ

■ 日本国内の事業におけるインパクトニーズを特定する際の参考として、SDGsインデックス&ダッシュボード、日本政府による「SDGs実施指針」、UNEP FIのインパクト評価ツールによる日本のカントリーニーズを関連づけて整理したもの。



凡例:

同心円の最内層:

·SDGs

「SDGsインデックス&ダッシュボード評価」によって 我が国において最も対応が必要とされたSDGsを 赤色、対応がなされていると評価されたものを緑 色、それ以外を黄色とした。

同心円の中間層:

・対応する

日本政府「SDGs実施指針」

日本政府「SDGsアクションプラン2020」に記載の「経済財政運営と改革の基本方針2019」において、日本が国際社会をリードするべき取組として示されたをSDGsを赤色、その他進めるべき取組として示されたSDGsを黄色、その他を緑色とした。

包摂的で健全な経済

同心円の最外層:

・対応する

主なUNEP FIインパクトカテゴリ

日本のカントリーニーズにおいて最もニーズが高い (スコア4) と評価されたものを<mark>赤色</mark>、最もニーズ が低い (スコア1) とされたものを緑色とし、その他 のものを<mark>黄色</mark>とした。